

科目名	教育実習事前指導			ナンバリング	EDU165	授業形態	講義
対象学年	3年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	0単位
代表教員	中島清州	担当教員	石川哲夫				

授業の概要	本科目は、1年の教職論や2年の教育原理等に引き続き、教職課程の中核となる実践的な授業内容である。中学校・高等学校という職場を理解し、教育実習の確かな心構えを持てるようにするものである。更に、各学校の生徒の現状を事前に把握し、教育実習校との関係づくりに努める。教育実習での基本的なマナーや実習日誌の書き方、学習指導案の書き方等を理解し、教育実習に問題なく臨むことができるようにすることを目標とする。
到達目標	1 教育実習のための手引きを基に、先輩の教育実習での報告などを踏まえて、教職に対する情熱や使命感、専門的な力量を高める。 2 教科教育法で作成した学習指導案をベースに、自分なりの指導案を作成し、模擬授業をする。 3 他の人と協力し合いながら、様々な活動について取り組み、教職課程履修のねらいである豊かな人間性を高める。
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	教育実習の手引きや先輩の体験を基に、今まで学んだ教育理論や実践的技術をレポートにまとめ、教師としての専門性をどう高めるか意欲的に取り組むこと。
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】
	○ 1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。
	○ 2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。
	○ 3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。
	○ 4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。
	○ 5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1 1年の教職論や2年の教育原理等の講義に引き続き、教職に対する情熱や使命感、専門的な力量についての基本的な理論と実践を理解している。 2 各自の課題について、グループ討議等を通して深め、今後の教職課程履修の方向性を確立する。 3 他の人と協力し合いながら、様々な活動に取り組み、教職課程履修の重要なねらいである「豊かな人間力」を高める。	1 2年生までの講義を生かして、更に教職に対する情熱や使命感、専門的な力量についての基本的な理論と実践を理解し、更に高めようとしている。 2 各自の課題について、グループ討議等を通して更に深め、今後の方向性を明確に確立する。 3 他の人と協力し合いながら、様々な活動に積極的に取り組み、さらなる「豊かな人間性」を確立しようとしている。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
授業への参加態度			○	○	○		40%
小テスト・授業内レポート	○	○					20%
宿題・授業外レポート	○						40%
出席			○	○			出席は加算対象とならず、欠席は減点対象

課題、評価のフィードバック	1. テーマについて主体的に関わり互いに議論を交わし、学習内容について学修を修正し深めていく。 2. 各時限のそれぞれの講義のレジュメを基にリフレクションペーパーに授業考察・疑問・質問項目を書き入れ、次時にフィードバックし、予習・復習に役立てる。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	「教育実習(事前)」の進め方	講義概要の説明:ガイダンスや教育実習の手引きを基に、自分の現在の歩みを点検し、課題を深める	
	第2回	教育実習までのスケジュールとその準備	・教育実習までのスケジュールとその準備点検をする	
	第3回	教育実習手引きの解説(1)	・教育実習の意義・留意事項・勤務の在り方等、現在の自分の歩みを点検し、課題を深める	
	第4回	教育実習手引きの解説(2)	・教職や社会人としての情熱や使命感について、今の自分を振り返り、どのように対応すべきか課題を深める	
	第5回	教育実習に参加する上での留意点	・先輩の経験や体験を基に、自分の歩みを点検し、専門性についての課題を深める	
	第6回	授業とはー学習指導案作成上での留意点	・学習指導案の各項目で何を示すか、自分の現在の歩みを点検し、課題を深める	
	第7回	英語科、道徳、学級活動の学習指導案の形式と内容	・各教科教育法で作成した学習指導案についてヒナ型と比較し、自分の歩みを点検し、課題を深める	
	第8回	学習指導案作成(1)	・学習指導案の各項目で何を示すか、自分の現在の歩みを点検し、課題を深める	
	第9回	学習指導案作成(2)	・学習指導案と板書計画について、自分の現在の歩みを点検し、課題を深める	
	第10回	模擬授業(1)	・自分の行った模擬授業の学習指導案や資料について、他の人からの反省用紙などを基に、自分の現在の成果を点検し、課題を深める	
	第11回	模擬授業(2)	・自分の行った模擬授業の学習指導案や資料について、担当教員からの指摘を基に、自分の現在の成果を点検し、課題を深める	
	第12回	模擬授業(3)	・自分の行った模擬授業の学習指導案や資料について、他の人の学習指導案との違いを整理し、自分の現在の成果を点検し、課題を深める	
	第13回	模擬授業(4)	・自分の行った模擬授業の学習指導案について、全体での話し合いを基に自分の現在の成果を点検し、課題を見つけまとめる	
	第14回	模擬授業で作成した学習指導案の確認	・自分の行った模擬授業の学習指導案について、他の人と読み合ったりして、自分の現在の成果を確認し、課題を深める	
	第15回	模擬授業で作成した学習指導案の完成	・A4版2枚の学習指導案と板書計画を点検し、課題を深める	
		試験	試験は実施しない。	
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とする。討議を必要とする授業テーマについてはグループ協同学修形態体験を取り入れる。		
授業外学習の指示		配付資料を中心に講義の内容を復習する。不明な点は必ず資料等で確認するか教員に質問すること。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	特に、なし
参考書	授業中に適宜資料を配付する。
参考URLなど	
その他	この授業は、全ての教職課程科目のペースとなる内容である。できるだけ欠席を避けること。